



まちまるごと、
みちのえき

加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム事務局より

その他関連する取組やイベントについて (報告)



令和8年3月24日
加茂駅周辺まちなかエリアプラットフォーム
令和7年度第2回ボードミーティング(全体会)資料



新潟加茂市は、古くからの魅力的な街並みが残されており、京都に似た自然と景観、伝統的な産業や文化が継承されていることから「北越の小京都」と呼ばれています。桐たんすの製造や木製建具の全国シェアは常に上位に位置しています。しかし、加茂市は人口減少が続いており、それに伴って空き家問題が年々深刻化しています。今回のフォーラムでは、加茂市に残る歴史的な建物や古民家の再生・利活用を通じて、街の魅力を再発見し、関係人口の増加につながる具体的なアクションを考えます。フォーラムでは、加茂文化会館でのシンポジウムに加え、現在再生中の建物を巡るツアーや県内の大学生によるディスカッションなども企画しており、日本各地から集まる参加者を通じて、全国へフォーラムの成果を発信し、地域活性化の一助となることを目指します。

11/8(土) シンポジウム・懇親会 (会場：加茂文化会館小ホール) **11/9(日) オプションルツアー** (各コース定員20名)

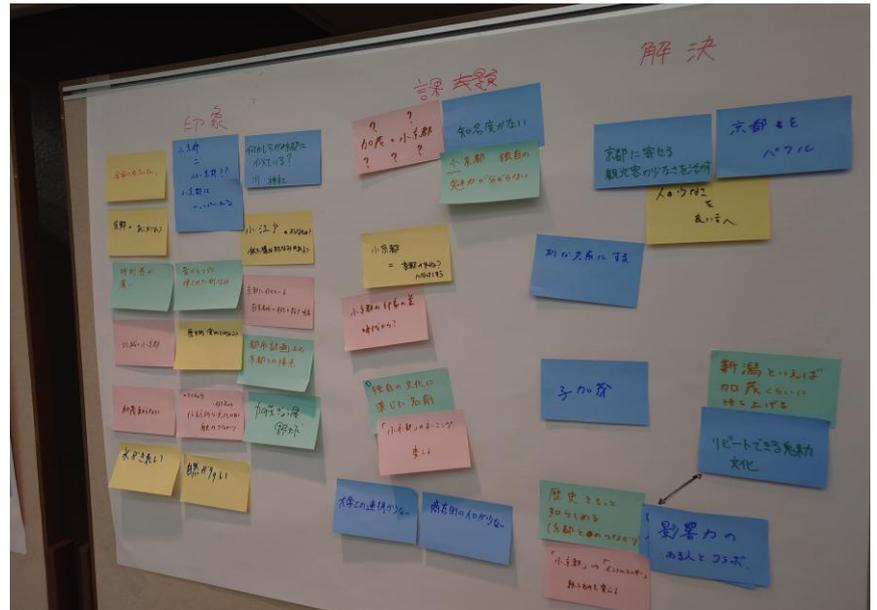
- | | |
|---|--|
| <p>9:30-10:00 開場・受付</p> <p>10:00-12:00 学生セッション</p> <p>13:00-15:30 開会式・シンポジウム</p> <p>民家再生相談会、曳家協会(展示・相談会)</p> <p>17:00-19:30 懇親会
(会場：日本料理 きふね)</p> | <p>Aコース 椿寿荘「大工目録の家屋歴史」
10:00-11:00 場所 南蒲原郡田上町大字田上丁</p> <p>Bコース 加茂まちめぐり(加茂市の町並み散策、修徳幼稚園見学、酒見屋と黒木通りの古民家めぐり)
10:00-11:30 場所 加茂駅前集合</p> <p>Cコース 加茂まちめぐり(Bコースに同じ)
14:00-15:30 場所 Bコースに同じ</p> |
|---|--|



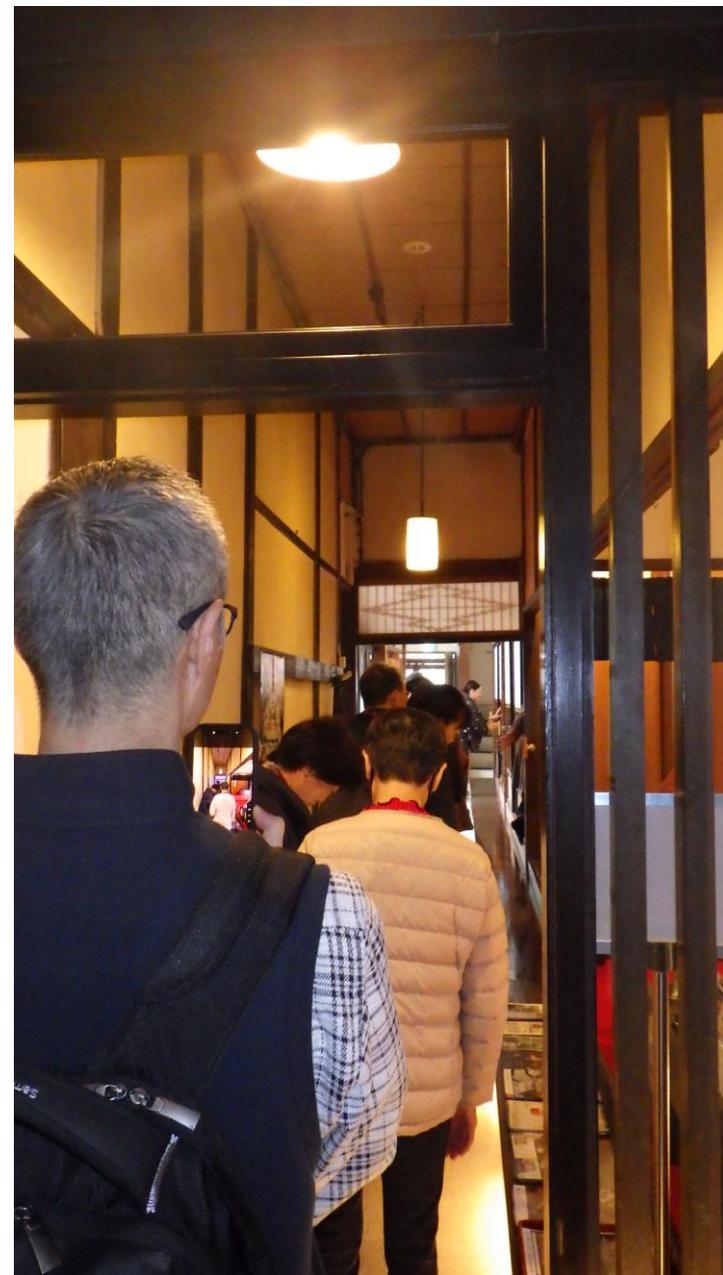
主催：特定非営利活動法人 日本民家再生協会
 後援：農林水産省、国土交通省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会、
 加茂市、公益社団法人新潟県建築士会、毎日新聞社、新潟日报社、
 加茂市商工会議所、新潟県、朝日新聞社、加茂ワイオンズクラブ
 協力：新潟大学、長岡造形大学、新潟経営大学

(お問い合わせ、お申込み先)

特定非営利活動法人
日本民家再生協会
 JAPAN MINKA REVIVAL ASSOCIATION
<http://www.minka.jp/>

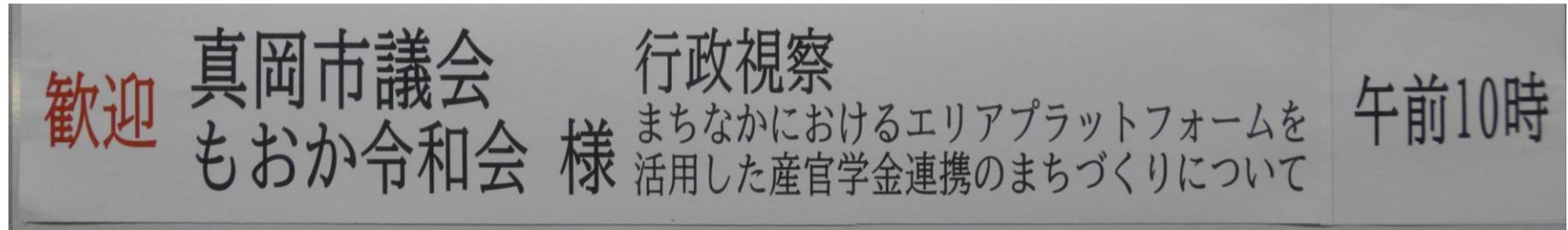








- 令和7年11月12日（木）に行政視察を受け入れ
 - 市役所にてこれまでのエリアプラットフォームの取組を説明（別添資料のとおり）
 - 質疑応答の後、まちなかエリアをご案内（視察終了後、加茂市内でご昼食）





1. にいがたりノベまちづくりスクールとは？（再掲）

令和7年度 **にいがたりノベまちづくりスクール**

※「公民連携による持続可能なまちづくり推進事業(令和7年度新規)」の取組として実施

リノベーションまちづくりを
県が支援することは
他県も注目!

中心市街地の活力低下、空き家・空き店舗の増加、地域課題の煩雑化、多様化 ⇒ 行政主体のまちづくりは既に困難
今年度から県では持続可能なまちづくり実現に向け、**市町村が進める公民連携(民間主導のまちづくり)の取組を支援**

↓

公民連携の取組として『リノベーションまちづくり』を取組む市町村に対し、専門家の知見を基にサポートしていく
「にいがたりノベまちづくりスクール」を県が実施

【スクールの概要】

<カリキュラム>

- ワークショップ ※計4回を予定
 - ・ 先進事例のインプット
 - ・ まちの課題&資源分析
 - ・ 戦略立案
 - ・ 民間プレイヤー発掘・交流
- 先進地視察
 - ・ 現地レクチャー、戦略ブラッシュアップ

<スクールに参加する市町村> ※政令市を除く

- ・ 柏崎市(都市計画課、建築住宅課)
- ・ 加茂市(政策推進課、商工観光課、建設課)
- ・ 阿賀野市(建設課、商工観光課)
- ・ 魚沼市(都市整備課、商工課、地域創生課)
- ・ 弥彦村(防災むらづくり課、観光商工課)

()内:参加する部署

取組内容	開催場所	開催日
第1回ワークショップ	柏崎市	9月11日(木)~12日(金)
第2回ワークショップ	オンライン	10月頃
先進地視察	未定	11月頃
第3回ワークショップ	未定	12月頃
第4回ワークショップ	オンライン	1月頃

市町村と民間による
**新たな公民連携まちづくり(リノベーションまちづくり)の取組みが
県内へ水平展開することを目指す**

<イメージ>
遊休不動産の活用によりまちの活性化・課題解決に繋げていく

コワーキング



Coworking & Café yuinowa HPより

子どもの遊び場



ただのあそび場 HPより

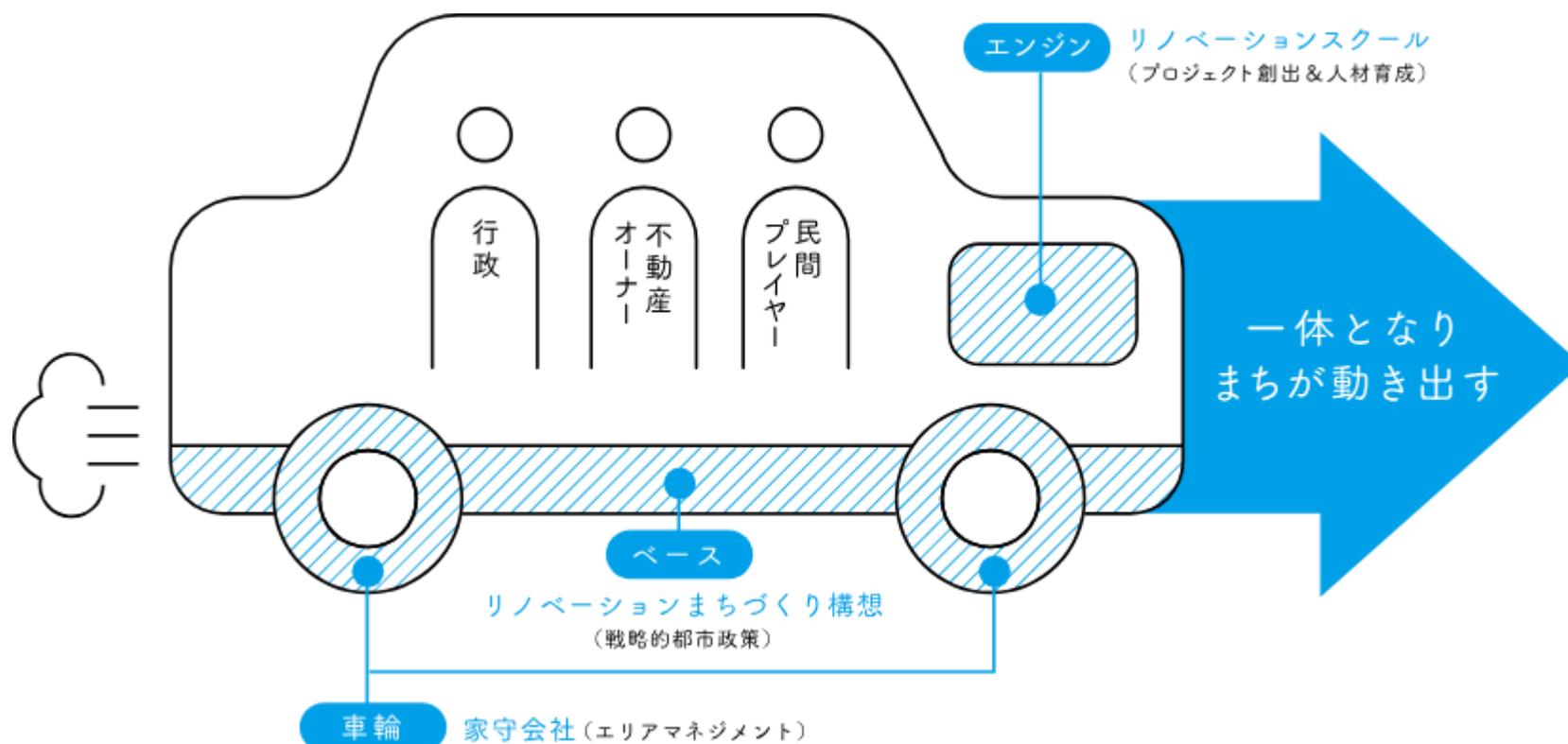
「リノベーションまちづくり」とは？

遊休不動産(空き家や空きビルなど)や地域資源(人材、文化、歴史)を活用し、補助金に依存せず、そのまちならではの事業(コンテンツ)創出を連鎖させ、シビックプライドの醸成やエリアの価値向上及び複合的な地域課題の解決を図る、民間主導の新たなまちづくりの取組み

(出典) 公民連携による持続可能なまちづくり推進事業 - 新潟県ホームページ

2. リノベーションまちづくりとは？（再掲）

- (株)リノベリングが提唱する「今ある資産を活用して自治体の都市・地域経営課題を解決していくまちづくり手法」のこと。
- ここでいう「今ある資産」とは遊休不動産などの空間資源にとどまらず人的資源や歴史的資源も含んでおり、それらの資源を余すことなく活用することで、なるべく低コスト・低リスク・スピーディーに事業を生み出し育てることを意図しており、必ずしも空き家・空き店舗のリノベーションありきの手法ではない。



(出典) リノベーションまちづくりとは | リノベリング

3. スクールでの取組報告

- 政策推進課 近藤、商工観光課 市川、建設課 宮腰 の3名でスクールを受講
- まちの課題や地域資源の分析、戦略立案、民間プレイヤーの発掘・交流手法を実践的に学ぶ

開催スケジュール	
9月11日(木)～ 9月12日(金)	第1回ワーク ショップin柏崎
10月9日(木)	第2回ワーク ショップ(オンラ イン)
11月6日(木)～ 11月7日(金)	先進地視察 (岩手県花巻市・ 紫波町)
12月1日～12月 2日(火)	第3回ワーク ショップin加茂・ 弥彦
1月15日(木)	第4回ワーク ショップ

開催レポート①

(出典) 「にいがたりノベまちづくりスクール」スタート！！【担当ブログ①】 | 新潟県

3. スクールでの取組報告

- 第1回WSでは、人口の構成、推移、コーホート、市の財政、経済や産業の構造、地域資源などの分析から、民間主体のまちづくり戦略を立案するプロセスを事前学習と合宿形式で学んだ

人口コーホート分析から、若者(特に女性)の流出が顕著
これにより社会減が自然減の原因になる悪循環

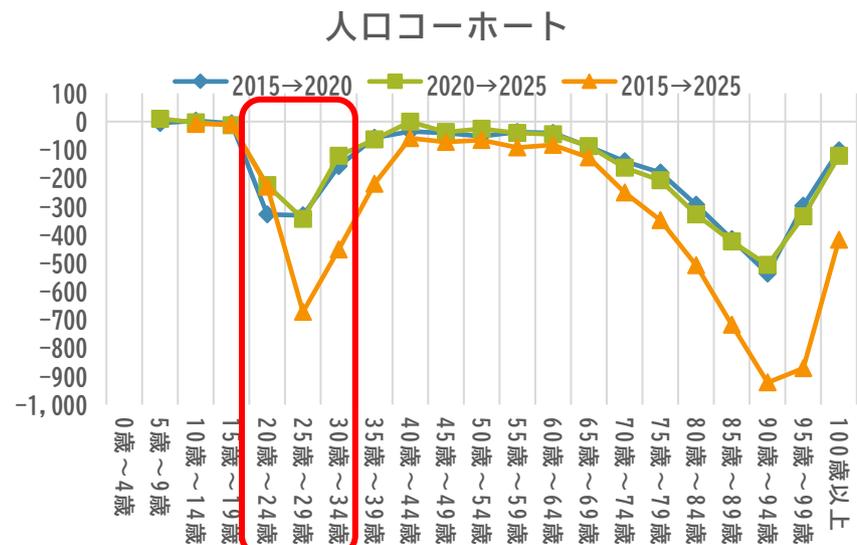
人口コーホートを見ると…

25～29歳までの流出が多い
特に、**20～29歳**の区間は
男性よりも**女性**の方が**減少**



- 19歳以下の区間における加茂市との関わり方
- 20～29歳の世代に対するまちの価値の向上

まちの姿が大きく変わる可能性



男性	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳
2015→2020	11	-160	-156	-65
2020→2025	14	-101	-164	-63
2015→2025	19	-90	-324	-219
女性	15歳～19歳	20歳～24歳	25歳～29歳	30歳～34歳
2015→2020	-17	-168	-175	-92
2020→2025	-27	-123	-180	-58
2015→2025	-29	-140	-348	-233

(出典) 総務省 | 住民基本台帳等 | 住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/jichi_gyousei/daityo/jinkou_jinkoudoutai-setaisuu.html

3. スクールでの取組報告

- 第2回WSでは、オンライン形式で民間プレイヤーの発掘・交流手法を学んだのち、実際にまちに出て民間プレイヤーと対話し、情報収集した結果を踏まえてまちづくり戦略を考えた

目指す姿は【**魅力あるコンテンツ(=事業・産業)を増やし、認知度を上げて、選ばれるまちになる**】ことである

これまでの課題

- 高齢化により人口・生産年齢人口が減少
- 若者、特に女性の流出が顕著
- 地域内で経済が回らないため、地元企業が成長しない
- 企業成長が進まないため、税収も伸びない

やるべきアクション

- ①若い女性が「このまちで暮らし続けたい」と思える環境づくり
- ②空き家や空き店舗を活用した、仕事と暮らしの受け皿づくり
- ③地域内での消費を増やし、経済循環率を向上させる仕組みづくり

3. スクールでの取組報告

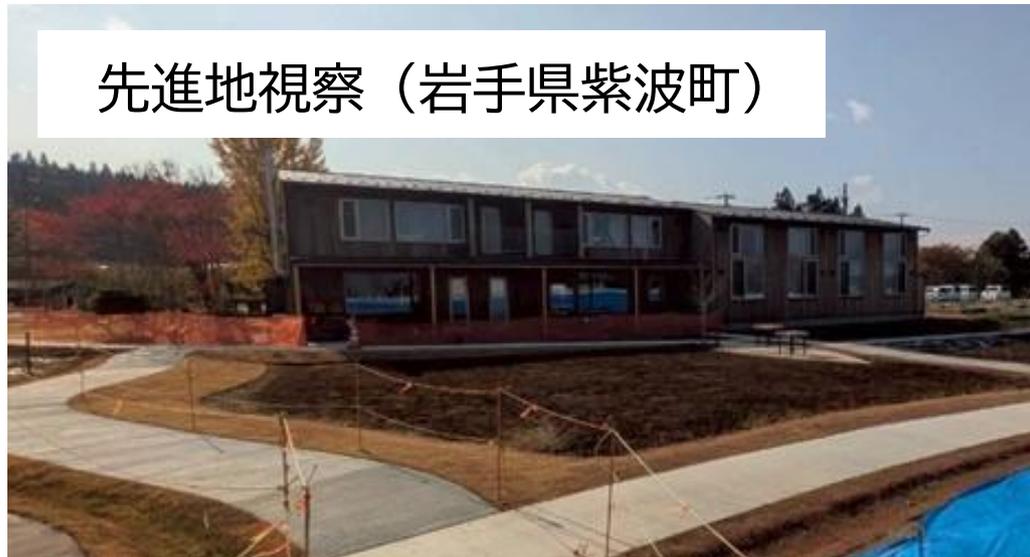
- 先進地視察（岩手県花巻市・紫波町）では、行政職員と民間プレイヤーの両方から、それぞれの立場での考え方や事業の実践を学んだ



3. スクールでの取組報告

- 先進地視察（岩手県花巻市・紫波町）では、行政職員と民間プレイヤーの両方から、それぞれの立場での考え方や事業の実践を学んだ

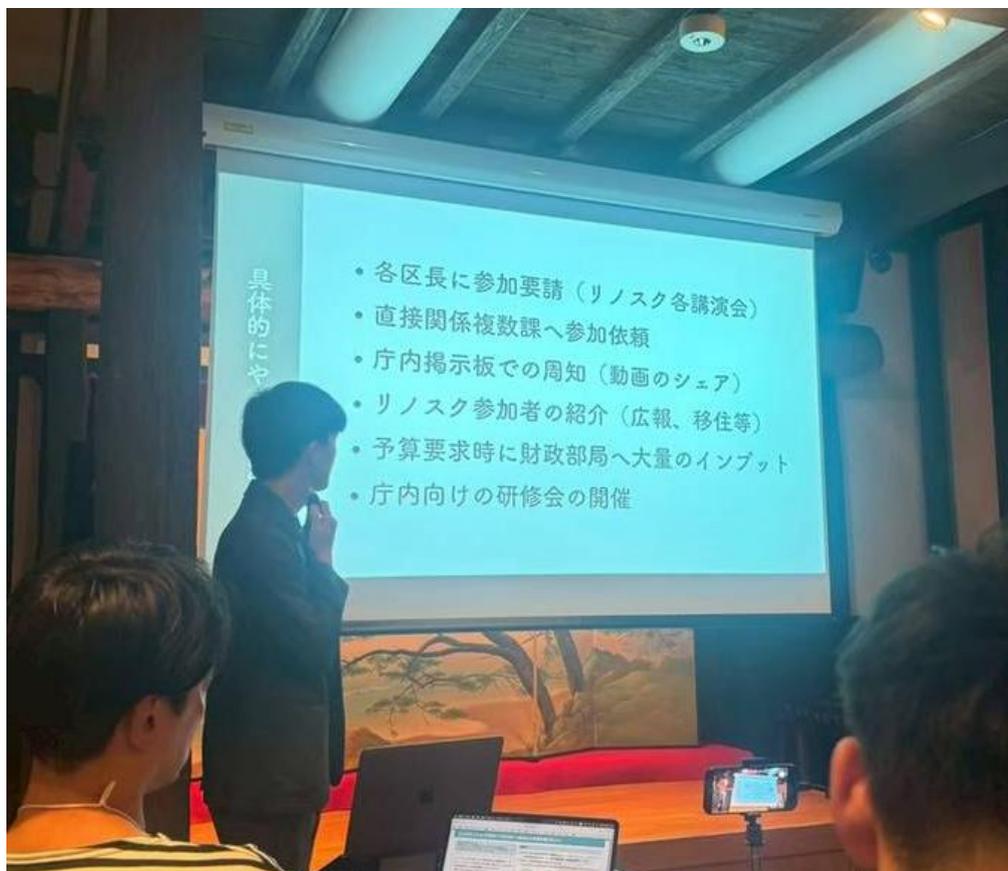
先進地視察（岩手県紫波町）



「にいがたりノベまちづくりスクール」先進地視察に行ってきました！【担当ブログ②】 | 新潟県

3. スクールでの取組報告

- 第3回WSでは、既にリノベーションまちづくりに取り組んでいる新潟市の担当職員から、民間の活躍を促すための行政の取組や考え方を講義とディスカッション形式で学ぶとともに、地域資源の見つけ方を実践形式で学んだ
- 第4回WSでは、このスクールで取り組んだことや学んだことを整理して報告・共有し、これから取り組むべきことに対するフィードバックを受けた



積極的に【**まちに出て**】
都市経営分析する

最大のコンテンツは【**人**】

【**民間主導**】の公民連携

事業に【**キャッシュポイント**】を作り
補助金に頼らない

【**収益性を高めて**】
事業スピードを速める

3. スクールでの取組報告

- 建設課 宮腰のレポートより

1棟を直すのではなく、まちの流れをつくる

Before

空き家＝事業が生まれる「可能性」
行政＝制度・補助金を中心

After

空き家＝点ではなく「面」で考える
行政＝プレイヤーを支える伴走者



① 点の建物を、面のエリアとして編集する視点

- ・1棟の再生ではなく、周辺との関係性を重視
- ・既存の同士の関係性から使い方を発想する

② プレイヤーを主役に据える関わり方

- ・事業者や地域の担い手の思い・強みを引き出す
- ・行政は主役ではなく、プレイヤーの意思決定を後押しする

③ 事業が連鎖する仕組みづくり

- ・単発で終わらせず、次の挑戦に繋げる
- ・エリア全体に波及する流れを考える

3. スクールでの取組報告

岩手県花巻市の
エリア再生事例の紹介



講師 小友 康弘
おとも やすひろ

株式会社小友木材店 代表取締役
株式会社花巻家守舎 代表取締役
株式会社上町家守舎 代表取締役
クラウドサーカス株式会社 取締役

異業種6社を東京と岩手で経営するバラレル経営者。1983年花巻市生まれ。老舗木材屋の長男。2005年ITベンチャー企業に就職、2009年子会社設立、役員就任(現職)。2014年株式会社小友木材店の代表取締役に就任(現職)。リノベーションまちづくりを学び、2015年に同志3名と県花巻家守舎を設立、2016年花巻市の老舗百貨店の閉店を同手法で引き継ぐために株上町家守舎も設立し、共に代表取締役(現職)。

行政間 もも 動動 くく

にいがたりノベ
ーションまちづくりシンポジウム

2026.2.16 月

時間 13:30-16:30

定員 100名 先着順

会場 新潟県庁2階
西回廊 大会議室

第二部

2025年度にいがたりノベ
まちづくりスクール参加自治体報告

加茂市、柏崎市、魚沼市

県内民間事業者の紹介

上越

合同会社ニトデザイン&リビルド 代表

打田 亮介
うちだ りょうすけ



- 先進地視察での小友さん曰く、「リノベーションまちづくりは、単純にビジネスとして儲かるモデルだからやっている。」とのこと
- 第二部では加茂市も登壇し、行政・民間合わせて約100名の参加者の前で、このスクールでの学びを報告した



「第2回 にいがたりノベーションまちづくりシンポジウム」を開催します！ - 新潟県ホームページ

4. リノベーションまちづくり会議「KAMO NEXT TALK」の開催

- 加茂市内で活躍する方、加茂市に興味を持ってくれる方と、にいがたりノベまちづくりスクールで学んだ考えや取り組み方を共有したいと思い、そのための場づくりを新潟県との共催で実施

講師
山本 慎一郎

パネリスト
堀内 大祐
海津 恵美
棒 泰士

KAMO NEXT TALK

リノベーションまちづくり会議@加茂

このまちの未来を変える105分へようこそ

生まれ育ったまちを守り
100年後にまちをつなぐ
岐阜の油問屋が取り組む
リノベーションまちづくり

加茂市内で活躍する方、加茂市に興味を持ってくれる方と、にいがたりノベまちづくりスクールで学んだ考えや取り組み方を共有したいと思い、そのための場づくりを新潟県との共催で実施

加茂駅前周辺まちなかエリアプラットフォーム令和7年度第2回ボードミーティング（全体会）資料